

(様式4)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	4	学校名	宇都宮市立陽南中学校
-----	-----------------	------	---	-----	------------

## 令和3年度 健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

### 1 健康（体力・保健・食・安全）に関する主な実態

#### (1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

##### ○定期健康診断

- ・「むし歯未処置」の割合は、全体で18.5%であり市の平均(10.6%)を上回っている。また学年が上がるにつれて、むし歯・CO・GO保有者が増加する傾向にある。
- ・CO保有者16名、GO保有者16名であり、ブラッシング指導を早い段階で実施し、むし歯に進行しないように経過観察をする必要がある。
- ・低視力の生徒は65%であり、市平均(52.2%)を上回り、学年が上がるにつれて低視力者が増加している。
- ・視力を矯正しているにもかかわらず、メガネやコンタクトレンズ使用者の半数以上がCまたはDの視力であった。

##### ○元気っ子健康体力チェック

- ・3か月の休校と外出自粛により、生徒の運動への意欲は低下したと言える。昨年と比較すると、どの種目も大きく下回る結果となった。
- ・体力合計点をみると、1,3年男子は全国平均を上回っているが、2年男子や女子は全国平均に届いていない。また、シャトルランに関してはどの学年も全国平均を大きく下回っており、今後の課題となった。

#### (2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから(※体力・保健・食・安全について、それぞれ記入する。)

- ・運動が好き、やや好きと回答している生徒が男子で87.4%、女子で76.2%であった。また、ほとんど毎日運動していると回答している生徒が男子で64.1%、女子で45.2%であった。昨年と比べて男子14.9%、女子4.4%減少している。
- ・健康診断で指摘されているところは「早めに治療している」「ある程度治療している」と回答している生徒は男子が90.5%、女子が98.4%であった。また、睡眠時間について、男女とも一番多かったのは6時間～8時間睡眠で男子66.7%、女子66.3%であった。学年別では「6～8時間」「8時間以上」と回答した生徒は、1年88.1%、2年86.7%、3年81.3%で、学年が進むにつれ、睡眠時間が短い生徒が増える。

- ・朝食を毎日食べている回答している生徒が男子で82.5%、女子で88.6%であった。毎日食べないと回答している生徒が男子3.2%、女子は1.5%であった。また、3食きちんと食べると回答している生徒が男子で80.7%、女子で82.2%であった。

### (3) 授業や健康安全・体育的行事等への取組状況から

(※体力・保健・食・安全について、それぞれ記入する。)

- ・今年度はコロナウイルス感染症対策の観点から、ペアを組んでの補強運動は実施できなかったが、長距離走や水泳など持久力を必要とする運動にも強い関心と意欲をもって取り組める生徒が増えてきた。
- ・健康については、全学年を対象にテレビ放送で実施された「薬物乱用防止教室」において薬物の危険性を知り、意欲的に学ぼうとする生徒の姿がみられた。健康診断においては、感染症対策を踏まえ、検診方法の変更や入室前の消毒、会場内の人数制限等を行い、検診を安全でよりよい方法にするため、学校医の意見を聞きながら検討を重ねた。その結果、感染症対策についての意識がより高まり、検診後にすぐ治療勧告書を発行したため、早期に受診する生徒が多く見られた。
- ・生徒の態度、取組を見ると、意欲的に学び取ろうとする姿が見られ、健康の課題について理解を深めることができた。
- ・食に関する指導については、「おにぎりの日」を前に栄養教諭によるおにぎり作りに関するワークシートを配付し、計画において栄養バランスに配慮する生徒が増えた。
- ・安全については、文化祭における自転車の交通安全指導を行った。また、避難訓練を実施した。さらに2年生の保健の学習で事故や自然災害について学び、生徒が自ら危険を予測し回避する力が身に付いた。

## 2 今年度の重点目標

- ・交通ルールやマナーの重要性を理解させる指導に力を入れ、自他の生命の尊重に努める生徒を育成する。
- ・体力の向上や心身の健康の保持増進に心がけ、自ら安全に活動できる生徒の育成に努める。
- ・食に関する指導の一層の充実を図るとともに、生徒の健康・安全管理の徹底を図る。

## 3 今年度の取組 (『学校教育スタンダード』に関する取組は文頭に★,『令和3年度指導の重点』に関する取組は文頭に□)

### (1) 体力について

★うつのみや元気っ子チャレンジ結果の積極的活用

□昼休みの校庭開放による運動の実施

- ・長距離走や水泳などの持久力種目への取組

(2) 保健について

- ★定期健康診断の実施、結果の家庭連絡

- ★事後指導の徹底

- ・歯科・視力に関する治療勧告の強化
- ・教職員と連携した事後指導の徹底

□関係機関と連携を図った講演会の実施（歯科、性、薬物乱用防止）

□保健だよりやホームページ、掲示物を通じた健康情報の発信

- ・感染症予防の継続
- ・生徒会保健委員会の活性化

(3) 食に関する指導について

- ★栄養教諭による専門性を生かした食に関する指導

□教科と連携した食に関する指導の実施

□お弁当の日を活用した望ましい食生活についての指導

- ★食育推進委員会で食に関する課題を把握し、学校全体での指導の徹底

□正しい食事マナーの徹底指導

- ・生徒会保健委員会・給食委員会の活性化
- ・正しいお箸の持ち方指導

(4) 安全について

- ★校内におけるけがを防止するためのきまりを守る態度の定着

□休み時間におけるボール使用時のマナーの徹底

□関係機関と連携を図った交通安全教室の実施

- ・危険箇所マップの作成